



山形市立金井中学校  
 学校だより  
 令和5年4月23日発行

## 新学期のスタートにあたり

4月8日（土）に新任式、始業式、入学式を行いました。177名の新入生を迎え全校547名でスタートしました。今年度は、新型コロナウイルスが2類から5類になるといわれていることから、様々な活動の制限緩和が期待されます。また、この3年間で学習環境も変化しており、授業や家庭学習でタブレットの利用はさらに進んでいきます。変化の多い時代ではありますが、たくさんの事にチャレンジして若いエネルギーを大いに発揮できる充実した一年になるよう心ひとつで取り組んでいきましょう。

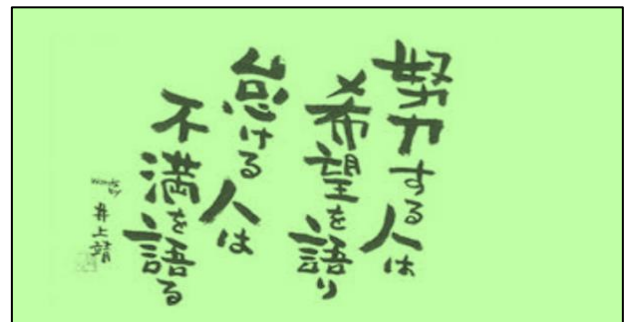
今年度は、いのちを支える心と身体づくりをベースに、授業づくりと集団づくりに力を入れて取り組みます。また、生活の実態にあった区切り（節）を設け、その時節にあった重点目標をキーワードで示し学校を運営します。

第1節	「夢と希望」	4/1～5/28	夢と希望を胸に新たなスタートをきる。
第2節	「挑戦」	5/29～7/2	高い目標に挑戦（チャレンジ）する。
第3節	「探究」	7/3～8/17	課題と向き合う。
第4節	「団結」	8/18～11/5	友と助け合い信頼を育み団結・協力し共に高まる。
第5節	「決意」	11/6～2/4	自己実現に向け学びを深め互いに高め合う。
第6節	「感謝」	2/5～3/31	実りある年度を感謝のところで締めくくる。

第1節は「夢と希望」です。夢をかなえるために、常に希望を見失わずに努力することを大事にしてほしいと願い、第1節のスタートにあたり次の言葉を贈りました。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」（井上靖）

うまくいかないことがあれば、ついつい現状の不満ばかりに目を向けてしまいがちです。誰しも自分が怠けている、とは思いません。でも、もっと自分にできることないだろうか、と考え前向きに頑張れる方が、ずっと自分の人生を切り開く力になります。「希望」と「不満」どちらに目を向けるかが大事で、「希望」に目を向けることで怠けようとする自分に勝ち、努力して希望が湧く、希望が湧くからさらに努力する、その好循環をつかんでほしいと思います。



希望を語る人生で夢をつかんだ、ピアニスト辻井伸行さんを紹介しました。辻井さんは目が見えません。でも念願だった、浅田真央さんのアイスショーでピアノ演奏を実現させました。希望を語る、そんな一年にしていきたいと思います。

離任された先生、新任の先生の紹介は、生徒配布のみとします